



令和5年7月 第84号

発行

とびうめクラブ福岡  
(公益社団法人 福岡県老人クラブ連合会)

〒816-0804 春日市原町3-1-7  
クローバープラザ内  
TEL (092) 582-9860  
FAX (092) 582-9870



令和5年度 福岡県老人クラブ連合会  
12回 定時社員総会

# 令和五年度 福岡県老人クラブ連合会 定時社員総会 開催される

令和五年五月二十三日(火) 春日市のクローバープラザにおいて、第十二回目の定時社員総会が開催されました。新型コロナウイルスについては、発生から三年が経過し、五月八日には、感染症法上の位置づけが「二類相当」から季節性インフルエンザと同じ「五類感染症」に変更されたことに伴い、多くの方が参加されました。

来賓としてご臨席されました福岡県知事 服部誠太郎様代理、副知事 大曲昭恵様、福岡県社会福祉協議会会長 酒見俊夫様代理、常務理事 徳永秀昭様からご祝辞をいただきました。  
総会では、令和四年度事業実施状況、令和四年度会計決算、役員選任(案)が慎重審議された後、令和五年度予算の報告がありました。

のばそう！健康寿命、  
担おう！地域づくりを

目次	総会 会長あいさつ 後藤清忠	2	南筑後地区 【大木町老人クラブ連合会】	
	知事祝辞 福岡県知事 服部誠太郎	3	筑豊地区 【宮若市老人クラブ連合会】	
	会長祝辞 福岡県社会福祉協議会会長 酒見俊夫	3	京築地区 【苅田町老人クラブ連合会】	
	令和5年度 事業実施方針	4~8	令和4年度	
	令和4年度 決算書	9	「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」報告	20~22
	令和5年度 予算書	10	「会員増強運動」令和5年度における市町村老連会員	
	地区からの発信	11~19	増強運動実績一覧	23~24
	福岡地区 【那珂川市シニアクラブ連合会】		福岡県老人クラブ連合会役員	25
	北筑後地区 【うきは市・広川町老人クラブ連合会】		令和5年度福岡県老連指定旅館	26~27
			老人クラブ保険で安心補償(2023年10月始期)	28

この機関誌は、共同募金の配分金により発行されたものです。



# 福岡県老人クラブ連合会

## 第十二回 定時社員総会

### 会長挨拶

福岡県老人クラブ連合会

会長 後藤 清忠



ただいまご紹介にあずかりました会長の後藤でございます。

第十二回定時社員総会の開会にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、多くの会員の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓といたしまして、

福岡県知事 服部 誠太郎様の

ご代理で大曲 昭恵副知事、福岡県社会福祉協議会会長 酒見俊夫様のご代理で徳永 秀昭様にご臨席いただいております。

お二方には、公務ご多忙にもかかわらず、ご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。

福岡県におかれましては、高齢者地域包括ケアシステムの構築などを通じ、高齢者福祉の増進を図る様々な施策を進めておられます。

また、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマとして活動する老人クラブと、これを支える市町村老連や県老連の活動にご理解とご支援を賜り、重ねてお礼申し上げます。

我が国は、超高齢社会に突入

してからすでに15年が経過し、急速な高齢化によって、福祉や医療面でさまざまな問題を抱えております。

一方で、老人クラブの会員数は年々減り続け、さらに、ここ数年は、新型コロナウイルスの影響で、クラブ活動の縮小や中止が相次ぐなど、老人クラブを取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。

しかし、地域のありようが変化し、人間関係が希薄化しつつある今だからこそ、高齢者による地域活動の重要性はますます大きくなってまいります。

高齢者が、互いに支え合い、仲間と喜びを分かち合いながら、地域を支えていく、そんな活動を継続していくため、会員の皆様におかれましては、引き続き、老人クラブ活動について、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

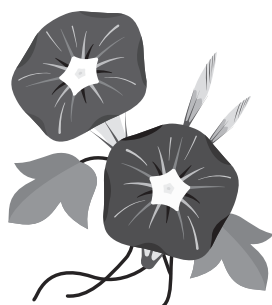
当団体も、関係機関と連携を

図りながら、会員の皆さまとともに、目標の実現に向かって活動して参りたいと考えております。

本日は、「令和四年度決算」をはじめ、三つの議案を提案しております。

どうか十分なご審議のうえ、ご承認いただきますよう、お願いいたします。

最後に、本日の総会が実り多いものとなり、老人クラブの絆が一層強くなることをお祈り申し上げます。ごあいさついたします。



# 知事祝辞

福岡県知事 服部 誠太郎



福岡県老人クラブ連合会定時社員総会のご盛会、誠にめでとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症については、5月8日に感染症法上の位置付けが2類から5類に変更となり、これから徐々に社会経済活動が平時に戻ってまいります。3年以上に及ぶ皆さまのご協力とご尽力に改めて感謝申し上げます。

本県では少子・高齢化の進行に伴い、県民の4人に1人が高齢者となっており、2年後の2025年には、その割合が29%を超え、3人に1人に近づくと推計されております。今後、地域の活力を維持していくためには、高齢者の方々に地域社

会の重要な担い手として、一層のご活躍をいただくことが不可欠です。

老人クラブ連合会におかれましては、約2千4百のクラブ、約12万人の会員の皆さまの固い結束のもと、健康づくり活動や地域支え合い事業などの取り組みを通じて、老人クラブ活動の振興と高齢者福祉の増進にご尽力をいただいております。

特に、ひとり暮らし高齢者の見守り活動については、民生委員、自治会および市町村協力・連携のもと、老人クラブの皆さまに、県内の全ての市町村で「見守り活動チーム」を編成いただくなど、見守り体制の根幹を担っていただいております。

後藤会長をはじめ、役員ならびに会員の皆さまに、心から敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。県では、高齢者の皆さまが住み慣れたところで長く元気に暮らすことのできる地域社会づくりを目標とし、さまざまな施策に取り組んでまいります。

経験豊かな高齢者の方々が社会で活躍し続けることができる生涯現役社会の実現に向け、その拠点とし

て平成24年に開設した「70歳現役応援センター」は、人生100年時代の到来を踏まえ、昨年4月に「生涯現役チャレンジセンター」と名称を改めました。これまでに約2万4千人が登録し、約1万5千人の方々が職場やボランティアの現場で活躍されています。これからも、元気で意欲のある皆さまと、高齢者の活力を生かしたい企業などのチャレンジを応援してまいります。

また、県では健康寿命を延伸し、元気に生活できることを目的として、官民の関係団体と一体となって、「ふくおか健康づくり県民運動」を推進してまいります。

人生100年時代を迎える中、高齢者の皆さまの健康づくりや生きがいづくりはますます重要になることから、高齢者の方々に地域社会のさまざまな場面で活躍いただけるよう、老人クラブ連合会の皆さまと力を合わせ、取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、福岡県老人クラブ連合会のみならずのご発展と、皆さまの

ご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。

# 会長祝辞

社会福祉法人

福岡県社会福祉協議会

会長 酒見 俊夫



本日「第12回福岡県老人クラブ連合会定時社員総会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

今日では、新型コロナウイルス感染症防止への対応に追われながらも、徐々にコロナ禍前の生活に戻つつありますが、未だ生活の困窮が続いている方も多く、人と人とのつながりの希薄化、支え合いの仕組みの脆弱化など、地域住民が抱える様々な地域生活課題は複雑化・複合



化しています。

誰もが孤立せず、生きがいを持って、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らしていくためには、人と人のつながりを強化し、誰もが支えあう地域をとともに創っていくことが求められています。

このような中、貴連合会におかれましては、感染防止対策を講じながら、ひとり暮らしや高齢者世帯などへの友愛訪問や子どもの見守り活動、ゲートボール・グラウンドゴルフ・バタックの各大会などを通じた健康・生きがいづくりなど、地域に根差した仲間づくりや地域を豊かにする活動に取り組んでおられます。

これもひとえに、後藤会長をはじめ、長きにわたり高齢者福祉に献身的に取り組んでこられました歴代の会長や役員並びに会員の皆様の御尽力の賜物と深く敬意を表します。

私ども福岡県社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる地域の仕組みづくりの構築に向け、関係機関・団体と連携・協働して取り組んでおります。

今年も、はつらつとした高齢社

会を築くことを目的とする「福岡ねんりんスポーツ・文化祭」の開催が予定されており、本会は実行委員会事務局として多くの皆さんに参加いただけるよう準備を進めております。

また、「第35回全国健康福祉祭えひめ大会」が10月28から31日にかけて愛媛県で開催されます。福岡県からも多くの選手・役員を派遣することとなっておりますが、後藤会長には選手団副団長として、本県選手の活躍を支えていただきますようお願い申し上げます。

本会では、両大会の成功に向け、貴連合会と共に力を合わせて参る所存でございますので、御支援・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の今後益々の御発展と、皆様方の御健勝を祈念いたします。お祝いの言葉といたします。

# 令和五年度 事業実施方針

## I メインテーマ(全国共通)

「のばそう！健康寿命、

担おう！地域づくりを」

### 〈健康寿命〉

健康寿命をのばし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指す。

仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組む。

### 〈地域づくり〉

他世代や関係団体と連携し、安心・安心の住みよい地域づくりを目指す。

元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げる。

## II 老人クラブ大会宣言事項の実践(全国共通)

戦後の混乱と激動の世相のなかであって、『高齢期の幸せは高齢者自身の手で創り出そう』を合言葉に誕生した、私たち老人クラ

ブは、会員の意欲と行動、住民の励ましと協力、国や地方自治体の理解と支援のもと、全国にネットワークを有する高齢者組織に至るまで発展してきました。

この間、老人クラブでは、同世代の人々に参加を呼びかけながら、「健康づくり」「支え合いづくり」「生きがいづくり」「地域づくり」をめざして、多彩な活動を展開するとともに、年金、保健、医療、介護、福祉など、高齢者を支える制度や施策の充実発展に向けた取組を進めてきました。

少子高齢化と人口減少が進行していくなかで、わが国の活力を維持し、すべての世代が輝ける地域共生社会を築きあげていくためには、私たち高齢者もその一翼を担っていかねばなりません。

よって、これまでの先人たちの歩みに思いを寄せ、新たな一歩を踏み出すことを誓い、次の取組を実践していくことを宣言します。

全国老人クラブ連合会

創立60周年記念

全国老人クラブ大会 宣言事項

令和4年11月8日

一、健康長寿をめざす

「健康活動」の推進

一、暮らしを見守る

「支え合い活動」の展開

一、高齢期を豊かにする

「生きがい活動」の充実

一、あらゆる世代と連携した

「地域貢献活動」の推進

一、高齢者の尊厳が守られる

「社会保障制度」の確立

Ⅲ 基本方針（県老連）

高齢者の自主組織として、健康寿命の延伸及び相互扶助の観点から同世代の見守りや支え合い活動を通じて、地域社会の中で期待される役割を担うとともに、全老連が提唱する運動を踏まえながら、生きがいややりがい、喜びなど高齢者が楽しく参加できる魅力ある老人クラブ活動を展開し、併せて、

あらゆる世代と連携した地域共生社会の実現に資することとする。

1 健康づくり・介護予防活動の推進

関係機関との連携、人材の活用等により、高齢者の健康保持、フレイル（虚弱）・介護予防を進め、健康寿命の延伸を目指し、高齢者が健全で安らかな生活を保持できるように努める。併せて、健康づくり推進の中核となるリーダーの養成に努める。

2 高齢者・地域支え合い事業の推進

高齢者のネットワークを生かし、訪問活動を通じた孤立防止や閉じこもりがちな高齢者を対象とした友愛活動を基盤とする幅広い生活支援等高齢者の暮らしを支える取組を推進するとともに、こども見守り活動や防災・防犯のまちづくりに取り組み、地域支え合い活動の裾野を広げて支え合いの地域づくりに努める。

3 組織活動の強化に向けた取り組みの推進

市町村老連及び単位クラブの活動・組織の一層の充実強化を図り、老人クラブ活動を更に活性化させる。このため、若手会員及び女性会員の参画を促進するとともに、会員増強運動を継続的に推進する。

4 全国共通目標の推進

全老連が提唱する全国共通目標を積極的に推進する。

5 制度・政策、高齢者に係る課題等の学習・実践

老人クラブ活動の意義の周知に努めるとともに、社会保障制度の学習と提言、提案活動など、積極的な社会参加に努める。

6 コロナ感染症の予防対策を取りながらの活動の継続

コロナ感染症の状況を注視し、状況に応じた感染予防対策を取りながら、クラブ活動を継続する。

7 会員の安全対策と連帯意識の高揚等

老人クラブ活動中の事故や会員の日常生活上の事故に備えた「老人クラブ保険」の普及と会員の連

帯意識を高める仲間のしるしである会員章の普及を通して、活動強化を図る。

Ⅳ 具体的方針（県老連）

公的的事业

1 健康づくり・介護予防活動の推進

(1) 健康づくり・介護予防活動の組織的な取り組みの展開  
健康推進委員会を中心として、健康づくり、フレイル・介護予防活動の組織的な取り組みを進め、健康寿命の延伸を目指す。

- ① 三大スポーツ大会（ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンク）の実施

- ② シニアスポーツ・レクリエーション活動の普及とそのための講習会の開催

- ③ いきいきクラブ体操、健康ウォーキング、高齢者向け体力測定の実施・推進

- ④ 人材（医師や看護師、栄養士等経験者）の活用による健

健康づくりの推進

⑤ 市町村老連が行う「健康づくり事業」の支援

⑥ 健康づくりを推進するリーダーの養成

・「体力測定講習会」の実施

・全老連主催の研修会等への会員の派遣

⑦ 市町村などの行政をはじめ、健康づくり関係団体との連携

⑧ 全国健康福祉祭への参加

(2) 全国「健康をすすめる運動」の実践

「健康をすすめる運動」推進研修会等を通じた健康づくりの輪の拡大

2 高齢者・地域支え合い事業の推進

(1) 在宅福祉を支える友愛活動の推進

① 「高齢者ネットワーク推進事業（愛の一声・友愛訪問事業）」の推進

② 「高齢者相互支援リーダー研修会」の実施

③ 全老連主催の研修会等への会員の派遣

④ 新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）への参画

・老人クラブの活動が、高齢者の介護予防や生活支援に資することへの理解と周知に努め、行政・関係機関と連携・協力して事業に参画するなど、幅広い生活支援を推進する。

(2) 地域支え合い事業の推進

① こども見守り、防犯・防災、交通安全、災害等緊急時の対応等

・こどもの安全を守るため、登下校時などの見守り活動の推進

・地域や高齢者の暮らしを守るため、防犯をはじめ各種安全対策、交通安全活動の推進

・防災幹旋事業を始めた災害時に備えた支援活動等の推進

② 消費者被害・特殊詐欺対策の強化

・地域のネットワークや研修会を通じて、高齢者を狙う悪質業者等による消費者被害・特殊詐欺被害の未然防止を図る。

③ 全国一斉「社会奉仕の日」

・花のあるまち、ゴミのないまちの取り組みと通年活動の計画的な推進

(3) 地域の関係機関との連携

① 地域包括支援センターなど地域の関係機関との連携による高齢者の支援

老人クラブは、地域の高齢者の状況に精通しており、今後増加が懸念される認知症をはじめ各種情報を関係機関と共有しながら、高齢者支援を推進する。

② 行政・警察、学校・PTA、自治会、社会福祉協議会、民生委員等地域団体との連携による情報の共有及び各種制度の学習機会の拡大

③ 地域の関係者と連携した住民参加型活動への参画（生活支援・助け合い活動）

3 組織活動の強化に向けた取り組みの推進

(1) 会員増強の一層の推進

令和元年度からスタートした

新たな「会員増強運動」を継続的・組織的に推進するとともに、5年ごとの方針見直しの年度であることから、次の5か年へ向けての新たな手法、目標を設定する。

① 女性部が主導して会員全員で取り組む活動方針の周知徹底と実践の拡大

・会員一人ひとりによる友人・知人・配偶者を始め、未加入者に対する加入の呼びかけ

・老人クラブ活動への参加呼びかけ等体験参加の促進及び地域活動への積極的な参加

② 老人クラブ活動の魅力や有用性、会員増強の意義・メリツトの発信・周知

③ 老人クラブの解散（休会、休眠）防止と支援体制の充実・強化及び未設置地域へのクラブの新設並びに未加入クラブの加入促進

④ 自治会等地域組織との連携強化、他の組織・機関と連携した活動の輪の拡大

⑤ 後継リーダーの育成

老人クラブリーダーの育成



① 「会長研修会」「事務局長研修会」など系統的な研修事業を通したリーダーの育成

② 全国老人クラブ大会や九州ブロック老人クラブリーダー研修会及び全老連主催の研修会等への会員の派遣

(3) 若手、女性会員の登用の促進

① 若手会員や女性会員の役員への登用の拡大

・若手リーダーの養成、若手委員会の立ち上げの取り組み

・女性委員会を中心に、市町村老連の女性組織の活性化と女性役員の拡大

・各種リーダー養成研修会への若手・女性会員の参加等によるリーダーの養成及び登用の促進

② 「女性リーダー研修会」の実施

(4) 魅力ある老人クラブづくりの推進

新たな行事やサークル活動を企画するなど、単位クラブが行う生きがいややりがい、楽しみな魅力ある老人クラブづくりを推進する。

(5) 表彰

① 県老連会長表彰、全老連会長表彰等による老人クラブ活動への貢献に対する顕彰及び意欲の喚起

② 会員増強に係る県老連会長表彰の実施

(6) 市町村老連との連携・情報の共有

① 事務処理体制の整備、県老連事務局と市町村老連事務局との連携の強化、情報伝達の効率化及び市町村老連等の事務負担の軽減に努める。

・ホームページなど多様な情報通信手段を活用した事務処理の推進

② 各種研修会や会議、ホームページを通した県老連と市町村老連の情報共有及び老連間の意思疎通・連携の強化

③ 広報活動の推進

① 県老連機関紙「福老連」の配布、研修会などを通した情報の提供

② 単位クラブが行う行政や自治会等の関係機関、近隣の駅や病院、銀行、農協等身近な

組織に対する情報提供による老人クラブ活動への理解の促進

③ 単位クラブが行う町内会の回覧板による広報誌の回覧

④ 分かりやすい紙面づくりやパソコンによる初歩的な「広報紙づくり研修会」を開催し、老人クラブの広報担当者の資質向上を図り、老人クラブ活動の魅力の発信に努める。

⑤ ホームページを活用し、多様な情報を掲載して、広報活動の強化及び市町村老連との情報の共有化を図る。

(8) 全老連や九州ブロック連絡協議会が開催する各種会議出席する等、高齢者や老人クラブ活動・運営に係る情報収集及び連携を図る。

4 全国共通目標の推進

(1) 全会員増強への取り組み

全国的な取り組みの重点でもある会員増強について、「福岡県老人クラブ会員増強運動実施要領」に基づき、引き続き会員増強に努めるとともに、5年ごとの方針見直しの年度であるこ

とから、次の5か年へ向けての新たな手法、目標を設定する。

(2) 全国三大運動「健康・友愛・奉仕」活動の推進

① 健康活動（健康づくり・フレイル予防活動）

・健康を保持・増進するフレイル（虚弱）予防活動の推進

・運動、栄養、社会参加を柱とした学習と実践

② 「いきいきクラブ体操」「高齢者向け体力測定」「健康ウォーキング」の推進

② 友愛活動（高齢者が相互に支え合う活動）

・友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動の推進

・多様な生活支援・通いの場づくり、見守り支援、健康づくり支援、情報伝達支援の推進

・新地域支援事業への参画推進

・認知症、孤立死防止、高齢者虐待等の学習・実践と地域関係者との連携

③ 奉仕活動（ボランティア活動）

・「社会奉仕の日」一斉奉仕活動の推進

・高齢消費者被害防止に向けた学習・支援体制づくり

(3) 高齢者の健康づくり・生活支援活動の推進

国では、誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持って暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指している。国民が一体となって進めるこの取り組みにおいて、老人クラブは健康寿命の延伸と地域における支え合い活動のすそ野を広げるため、積極的に健康づくり・生活支援活動に取り組む。

## 5 制度・政策、高齢者に係る課題等の学習・実践

(1) 老人クラブの組織強化・活動への理解促進と予算の確保

① 県老連、市町村老連の各段階における地方自治体、議会、一般市民に対する老人クラブ活動のPR

(2) 新たな自主財源開拓に向けた調査研究及び予算確保に向けた取組の強化  
社会保障制度等の学習と提言・提案活動

① 医療・介護・福祉等の社会

保障制度をはじめ、交通安全、消費者被害・特殊詐欺被害、防災・防犯など高齢者に関わる課題の学習、実践活動

(2) 高齢者をめぐるの制度・施策に対する提言・提案等

## 6 コロナ感染症の予防対策を取りながらの活動の継続

(1) 「新しい生活様式」に基づくクラブ活動の普及

① 3密（密閉・密集・密接）を避ける工夫を行いながら、活動を継続する。  
② 参加者への感染予防対策の周知徹底（体調の確認、マスクの着用、人との間隔等）

(2) 自宅のできる身体と心の健康づくりの呼びかけ

① 身体の健康づくり  
運動や体操、栄養バランスの取れた食生活、歯・口腔の健康管理など

(2) 心の健康づくり  
電話や手紙、オンラインを活用した仲間や知人との交流、趣味・関心ごとへの取組や積極的な気分転換など

① 医療・介護・福祉等の社会

## 福利厚生・相互扶助等事業

7 会員の安全対策と連帯意識の高揚等

(1) 老人クラブ傷害保険及び賠償責任保険の普及拡大

老人クラブ活動中の事故や会員の日常生活上の事故に備えた「老人クラブ傷害保険及び賠償責任保険」の普及拡大に努める。

(2) 老人クラブ会員章の普及拡大

全国の会員をつなぐ仲間のシンボルである「会員章」の普及による連帯意識の高揚

(3) 指定旅館数の回復、利用促進

指定旅館からの賛助収益は重要な自主財源の一つであることから、現在の利用状況を把握するための実態調査を実施し、新たな仕組みの導入も含めた指定旅館数の回復策に取り組む。  
新型コロナウイルスの感染状況に応じ、感染対策を十分取った上で利用促進に努める。

## その他法人の目的を達成するための事業

8 県老連組織の運営等

① 社員総会、理事会、委員会・各種会議等の活性化による県老連活動の充実

② 公益認定法に基づく公益社団法人としての組織体制の整備

③ 行政をはじめ、社会福祉協議会等高齢者福祉の増進に資する関係機関・団体との連携強化





## 令和4年度 決算書

I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益		公益	収益	その他事業	法人	合計
基本財産運用益	基金利息	0			350	350
特定資産運用益	受取利息	6			42	48
会費収入	受取会費	5,189,800			5,189,800	10,379,600
県補助金	県老連助成事業費	9,923,000				9,923,000
	活動推進員設置	4,068,000				4,068,000
	高齢者相互支援	1,551,000				1,551,000
	魅力ある老人C	1,130,000				1,130,000
	高齢者ネットワーク	6,214,000				6,214,000
	高齢者スポーツレク	4,522,000				4,522,000
	小計	27,408,000	0	0	0	27,408,000
民間助成金等	共同募金会	1,200,000				1,200,000
受取拠出金	受取会員章拠金			16,950		16,950
受取寄付金	受取寄付金	50,000			50,000	100,000
雑収入	受取利息	170			11	181
	雑収益	488,061		220,000	550	708,611
	指定旅館料		1,600,000			1,600,000
	防災売上				1,727,180	1,727,180
	小計	488,231	1,600,000	220,000	1,727,741	4,035,972
経常収益計		34,336,037	1,600,000	236,950	6,967,933	43,140,920
(2) 経常費用						
支  出	報酬	192,250			118,750	311,000
	給料手当	14,792,630	824,687	109,846	1,633,915	17,361,078
	臨時雇賃金	33,000				33,000
	退職給付費用	323,302	28,289		52,579	404,170
	福利厚生費	2,417,555	142,267	17,492	286,757	2,864,071
	会議費	726,124			93,950	820,074
	旅費交通費	2,814,530			476,080	3,290,610
	研修参加費	69,000				69,000
	通信運搬費	968,058	51,132	220	101,895	1,121,305
	減価償却費	9,657	805		1,034	11,496
	消耗品費	2,042,935	2,753		27,232	2,072,920
	印刷製本費	2,869,201	380,160		146,416	3,395,777
	光熱水料費				92,087	92,087
	賃借料	635,935	52,993		68,135	757,063
	保険料	53,400				53,400
	諸謝金	281,283				281,283
	補助返還額	24,500				24,500
	租税公課				3,750	3,750
	支払負担金				781,000	781,000
	支払助成金	9,694,000				9,694,000
委託費				374,000	374,000	
広告宣伝費	97,900				97,900	
雑費	108,756			72,643	181,399	
防災仕入				1,553,353	1,553,353	
経常費用計		38,154,016	1,483,086	127,558	5,883,576	45,648,236
当期経常増減額		△ 3,817,979	116,914	109,392	1,084,357	△ 2,507,316
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計		0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計		0	0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 3,817,979	116,914	109,392	1,084,357	△ 2,507,316
他会計振替額		45,260	0	△ 45,260	0	0
税引前一般正味財産増減額		△ 3,772,719	116,914	64,132	1,084,357	△ 2,507,316
法人税、住民税及び事業税					100,600	100,600
当期一般正味財産増減額		△ 3,772,719	116,914	64,132	983,757	△ 2,607,916
一般正味財産期首残高						34,786,686
一般正味財産期末残高						32,178,770
II 正味財産期末残高						32,178,770

## 令和5年度 予算書

I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益		公益	収益	その他事業	法人	合計
基本財産運用 益	基金利息				1,000	1,000
	特定資産運用 益				1,000	1,000
会費収入	受取会費	4,967,500			4,967,500	9,935,000
県補助金	県老連助成事業費	9,923,000				9,923,000
	活動推進員設置	6,102,000				6,102,000
	高齢者相互支援	1,551,000				1,551,000
	魅力ある老人C	1,130,000				1,130,000
	高齢者ネットワーク	6,214,000				6,214,000
	高齢者スポーツレク	4,522,000				4,522,000
	小計	29,442,000	0	0	0	29,442,000
民間助成金	共同募金会	1,200,000				1,200,000
受取拠出金	受取会員章拠金	0	0	10,000	0	10,000
雑収入	受取利息	1,000				1,000
	雑収益	110,000		220,000		330,000
	指定旅館料		1,500,000			1,500,000
	小計	111,000	1,500,000	220,000	0	1,831,000
経常収益計		35,720,500	1,500,000	230,000	4,969,500	42,420,000
(2) 経常費用						
支  出	報酬	209,000			127,000	336,000
	給料手当	14,988,000	450,800	91,700	1,101,500	16,632,000
	臨時雇賃金	35,000				35,000
	退職給付費用	346,424	34,642	8,661	43,303	433,030
	福利厚生費	2,467,200	180,100	14,200	183,500	2,845,000
	会議費	1,105,000			92,000	1,197,000
	旅費交通費	3,413,000			620,000	4,033,000
	研修参加費	138,000				138,000
	通信運搬費	577,000	140,000		50,000	767,000
	消耗品費	1,242,000			30,000	1,272,000
	減価償却費	16,000	2,000		1,000	19,000
	印刷製本費	2,306,000	600,000		115,000	3,021,000
	光熱水料費				90,000	90,000
	賃借料	766,000	82,000		46,000	894,000
	保険料	113,000				113,000
	諸謝金	647,000				647,000
	租税公課				5,000	5,000
	支払負担金				764,000	764,000
	支払助成金	9,694,000				9,694,000
	委託費				490,000	490,000
広告宣伝費	88,000				88,000	
雑費				100,000	100,000	
経常費用計		38,150,624	1,489,542	114,561	3,858,303	43,613,030
当期経常増減額		△ 2,430,124	10,458	115,439	1,111,197	△ 1,193,030
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計		0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計		0	0	0	0	0
当期経常外増減額						0
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 2,430,124	10,458	115,439	1,111,197	△ 1,193,030
他会計振替額		52,236		△ 52,236		0
当期一般正味財産増減額		△ 2,377,888	10,458	63,203	1,111,197	△ 1,193,030
一般正味財産期首残高						32,701,131
一般正味財産期末残高						31,508,101
II 正味財産期末残高						31,508,101

# 地区からの発信

## 福岡地区

### 単位クラブ (末広シニアクラブ) の活動について

那珂川市シニアクラブ連合会  
末広シニアクラブ

会長 恵良 昭彦



私が所属している、末広シニアクラブは、那珂川市シニアクラブ連合会に所属し、活動をしています。この連合会は、18クラブ、669名からなり、うち女性は382名（57.1%）です。

### 活動内容

末広シニアクラブは、昭和39年4月に三つの行政区が一緒になって老人クラブとして立ち上げられました。

クラブ名は、いつまでも末広がり・・・の願いを込めて命名しようです。

設立当初は不明ですが、私が入会した平成19年当初63名だった会員は、平成23年度には、40名台になりました。また、平成27年度には、一つの区が全員退会したことで、一気に25名にまで減ることとなり、会の解散話まで起きましたが、市連合会からの助けもあり、それからは一念発起し会員の勧誘に努力してきました。

しかし、結果は一進一退、高齢化等でなかなか増員にはなりません。私たちは常日頃から、会員の健

康寿命の維持とコミュニケーションを大切な柱として活動してきました。

そのために、年間を通じて「社会福祉協議会・包括支援センター・保健センター・防災士・警察」等が実施する出前講座を行っています。

コロナ感染予防対策により、一同と集いできなくなった令和2年度から、会員との心が疎遠になるのを防ぐと同時に、頭の健康維持を狙い「名言・川柳・脳トレクイズ」を、月に2回発行してきました。今では配布を心待ちにされています。

コロナ前の年間行事は、公民館活動8回、日帰り旅行2回、一泊旅行1回、新年宴会1回、誕生日祝い等でしたが、コロナ感染防止の必要性上、令和2年度・3年度は脳トレ配布のみでした。

4年度に入ってからには、公民館活動を再開しています。

また、食事会として一度出かけ、新年宴会も実施し、3月には念願の1泊旅行もできました。本当に皆さんが喜ばれ、実施してよかったと思っています。



令和5年度は、連合会が開催するスポーツ大会に参加し、例会では、軽体操（かわせみ体操）を取り入れて身体を動かすことに重点を置いて活動していきたいと思っています。もちろん、新年宴会・旅行は実施します。

### 会員増強を目指す

シニアクラブ活動を知ってもらうために、連合会発行の冊子の配布、末広シニアクラブの活動がわかる発行物も検討したいと思っています。



# ソフトダーツで地域 ふれあいづくり

那珂川市シニアクラブ連合会  
今光シニアクラブ

副会長 矢根 孝貞



今光シニアクラブは、那珂川市シニアクラブ連合会の単位クラブとして活動しています。旧名称は「今光老人会」でしたが、「老人会」という呼称に入会をためらう理由の一つではないかと指摘もあり、平成26年に改称しました。

## 会員外・他地域との交流

会員増強につなげるには何をすべきかと議論し、いくつかの案の中から「脳トレ・マジャン」「ソフトダーツ」を平成29年に取り入れました。

ダーツゲームは室内で行い、高

齢の方でも身体的な負担も少なく、運動機能に優れていなくても楽しんで、適度な緊張感と軽運動が高齢者に適しているといわれています。

この手軽なスポーツをより多くの人で楽しむため、誰でも参加できるように、シニアクラブの枠にとらわれず、会員外に門戸を広げています。

地域の高齢者が融和な雰囲気の中で自然と挨拶を交わし、面識を広め、様々な日常の話題から趣味や高齢者共通の諸問題等についてまで情報交換を行い、交流を深めることで孤立をなくすことができると、毎週、お互いに声を掛け合える地域活



動を目指して、ダーツと脳トレ・マジャンを行っています。

そして、こうした活動を通じて、他地域と交流し「お年寄り」の笑い声が点から面へと広がり、会員増強につながればと思っています。

## ダーツゲームの二コマ紹介

今光ダーツクラブでは、誰言うともなくアンダ・ザハットゲームを「思いやりゲーム」と呼ぶようになりました。

このゲームは、前の人より得点が1点でも高ければ勝ち「○」、低ければ負け「×」、×が3個でゲーム失格。そこで前の人が高得点だと勝てそうにないので「あなた 思いやりのない 冷たい人やなく」とヤジが飛ぶ・・・低い点数だと勝てそうなので「あなた 思いやりがあり心温かい人や」と囃し立て・・・上手な人が「×」3個で失格になると「わくわく」と手をたたくて盛り上がる、冗談を言えることで一層親しみが増します。

「今日はアンダ・ザハットをやるよ」と声をかけると「アンダハットちゃ、なんかいな」と聞かれるので、



「思いやり」と応えると「わかった」と通じあえます。

このように、どこかで笑い声が聞こえるのがこのゲームです。

## 健康寿命を延ばそう

ソフトダーツは室内競技で広い場所も必要なく、天候や季節にも影響されず、男女性別を問わず、人数制限もなく、楽しめるのが魅力です。

このダーツゲームは、ダーツ盤に矢を的中させる簡単なスポーツですが、メンタルに左右される繊細なスポーツでもあります。競技種目は  
\*カウント・アップ \*アンダ・ザハット \*ハーフ・イット \*ゼロワン 等々あり、矢を投げる時の瞬時の集中力・体位のバランス・呼吸、

定めた部位を外した時の失望感・勝敗を決める一矢が的中した時の高揚感・得点計算・記録・1ゲーム中の歩数など体全体を使うので、日ごろ運動不足の高齢者には最適なスポーツです。皆で楽しみ健康寿命を延ばしましょう。

結びに、現在、今光ダーツクラブ会員数は31名ですが、シニア以外の方は7名、うち3名が、4月からシニアクラブに入会しました。声をかけ、触れ合う地道な活動の中に会員増強のヒントがあるように思います。

## 北筑後地区

### 長寿社会に心寄せて

うきは市老人クラブ連合会

副会長 東 多喜子



山春校区には、現在三つの老人クラブがあります。

以前はもつとあったのですが、諸々の事情で休会、解散となったようです。

環境としては山に囲まれた農村地帯で、果樹農家、米農家、それに加えて家庭菜園と、高齢になっても仕事忙しいという地域性があります。

こういった地域の中で、我が長寿会は三行政区で構成されていて、会員数は約60名、平均年齢は83歳といったところ。ちなみに60歳代はゼロです。

こんな状況ですので、在籍している会員になるべく参加してもらうにはどうすればいいかを考えていかなければ、様々な行事が成り立たなくなってきました。

行事への参加者を増やすには、ちよつとした手助けが必要な場面があるのではないかと思います。

ここで、認知症があるAさんの取り組みについて紹介します。我が長寿会の大きな活動の一つに毎月末の地元のお宮掃除があげられます。Aさんはお宮掃除に行くときには帽

子をかぶり手袋をしてきていました。が、ある時から手袋の管理ができなくなりしました。どこかに大事にしまひ込んでいるのです。

そんなAさんですが、欠かすことなくお宮掃除に参加していて、これからもずっと参加したいと思っっているのです。社協のマネージャーもAさんの気持ちはよく理解していたので、何とか続けさせてあげようと私に相談があり、Aさんの手袋管理を引き受けることになりました。

掃除の前日Aさんに「明日はお宮掃除ですよ。手袋預かっていますよ。」と声掛けをし、掃除当日の朝Aさんのお宅に届けています。掃除後はその場で手袋を預かり、汚れているときは洗い、次に備え保管しています。Aさんも「あなたが持つとつてくれると、ありがと。ありがと。」と喜んでくれます。

この事例のように、人格を尊重し、その人がその人らしい生活を送れるように協力していきたいと思っています。

次にBさんの件を紹介したいと思います。Bさんは、日ごろは何でも

自分でできるのですが、ある日、これから先のことを考えると生きていく自信がなくなっていました。

困ってしまい、Cさんに悩みを相談しました。Cさんは、これは大変とDさんに「Bさんが悩んどるけん、話を聞きに行こうや。」と電話をかけ、Dさんと一緒にBさんのお宅に何度も言っつて悩みをしつかり聞いてあげました。

お陰でBさんは悩みを解消し、心安らかになることができました。Bさんの件からは、会員のちよつとした困りごとのお手伝いは、とても大きな力になることが分かります。

自分が困ったときは誰かに、誰かが困ったときは自分がという具合に、助け合いの気持ちを大事に、長寿会活動をしていきたいと思っています。



「私の趣味的歴史」

広川町老人クラブ連合会  
川瀬北老人クラブ

会長 徳丸 邦男



私は昭和十五年（一九四〇年）生まれの八十二歳です。皆様よくご存知の同年生まれの知名人には、政治家の古賀誠氏、麻生太郎氏、元プロ野球選手の王貞治氏、張本勲氏等々。戦前、戦中、戦後を生き抜いてきました。

先頃ある友人から「長生き音頭」という動画ファイルが贈られてきました。これは私共高齢者（概ね健康人）にとつて誠にユーモラスな歌詞と思われましたので、まだご存知ない方に、その一部（抜粋）を紹介させていただきます。（スマホで「長生き音頭」

と検索すれば出てきます。）

元元元気でシャシャンとね 長生き音頭でシャシャンとね

シャシャンとね それ！ シャシャンとね（ア）

まだまだ若い まだ若い 七〇なんて まだ若い

ひよっとして迎えに来たならば（イ） 只今お留守と言いなさい

（ア略） まだまだ若い まだ若い 八〇なんて まだ若い

（イ略） これからお風呂と言いなさい

（ア略） まだまだ若い まだ若い 九〇なんて まだ若い

（イ略） そんなに急くなと言いなさい

（ア略） まだまだ若い まだ若い 一〇〇歳なんて まだ若い

（イ略） 頃見て行くよと言いなさい （以下 略）

さて本題、私の趣味的歴史の一端をご紹介します。これまで諸先輩方からよく「多趣味の徳さん」と言われました。私自身も好奇心旺盛ではないかと思っております。

私は昭和三十四年（一九五九年）

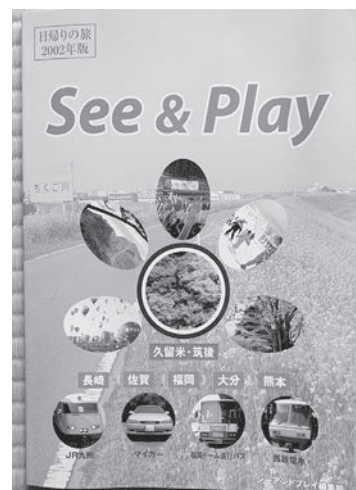
長崎県佐世保市の陸上自衛隊（以下陸自）相浦駐屯地新隊員教育隊（当時）約五〇〇名の一人として入隊、約三ヶ月の教育訓練の後、陸自チャーターの国鉄列車で北海道へ配属されました。初めて見る北海道の自然に感動しました。

これらどんなドラマと遭遇

するのか想像するだけでワクワクしました。そして写真に収めたい気持ちが一気に高まり、中隊の先輩に私もカメラを買いたいと相談、そして勧められたフィルムカメラがペンタックス！それから公私にわたり、機会を見て撮り始めました。

春夏秋冬に伴い変化する風景、白樺林、演習場内に群生するスズラン、スキー、各種イベント（例 雪まつり）、何もかもが私にとって珍しいものばかりでした。

陸自定年退官の六年前（平成元年・一九八九年）、職務上の文書作成はワープロ作業が求められる時代となり、富士通「オアシス30LX」を自費購入、ローマ字入力で作業開始しました。退官の三年前、陸自西部方面隊が実施している定年退官予



定者のための「業務管理教育」を受講、その科目の一つにPCの体験講習がありました。モニター画面に美しくカラー表示、この頃はまだまだそういう時代でした。

私は平成六年（一九九四年）五十四歳で陸自を定年退官致しました。そしてある一般企業に嘱託社員として入社、この会社は六〇歳定年制でした。その定年二年前に、この会社退職はどうしようかと考えました。

ここでしばらく「充電期間」とするか、日本の雇用安定にも寄与？これからはIT時代に突入するんだよなあ！PCも普及してくるよなあ！ここで私の多趣味の徳さんが登場！！この久留米・筑後地区に住む友人知人に利用してもらえぬ日帰りの旅本でも作ってみようかと！



## 南筑後地区

心はまるく、

気はながく老人讃歌

大木町老人クラブ連合会  
荒牟田和加波クラブ

会長 鳥取 英記



会社退職の一年前、PCウインドウズ98とデジカメを購入し、写真撮影とその情報取材、並行してPC作業（画像加工含む）を開始しました。私が購入した画像加工ソフト（ペイントショッププロ7）の取扱いに苦労しました。就寝中に加工のやり方がひらめき何度も起きて試みました。旅本の一次概成し、これを補修修正し、二次概成、これまた補修修正、作業しているうちに自分の腕が上達し、より良い本にと欲がでてくるのです。

平成十四年（二〇〇一年）十月KK西日本新聞印刷において「日帰りの旅二〇〇二年版SEE&PLAY」（写真）が完成しました。後期高齢者の私にとってデジカメ、PC、スマホは趣味を生かすための道具の一つと思っております。

また前述しましたフィルム写真（殆どがアルバム）もデジタル画像にして現在USB保存しております。それは、私が今後予想されるであろう、介護施設利用や自宅で寝たきりになったとき、その保存しているUSB画像を見て楽しみたいと思っております。

私の住む大木町は町の面積14%を占める堀クリークが走る水と緑豊かな筑後平野のほぼ中央に位置する所です。

人口約14,000人の町で46自治区（行政区）があり、当荒（あら）牟田（むた）地区は153世帯で、人口464人、60歳以上は127人です。老人クラブ会員は60歳以上から加入いただいています。住民の4人に1人が60歳以上となり令和5年4月現在で会

員数76名です。

平成21年頃までは、老人クラブの活動がマンネリ化し、魅力をなくして参加者も減少気味でしたが、丁度その頃に、いきいきサロンの取り組みの話があり、平成22年5月から老人クラブ事業活動の一環として始めました。以後、会員の参加も増え、事業内容が楽しく盛り上がり、クラブの名称もこの時から荒（あら）牟田（むた）和（わ）加（か）波（な）となりました。

クラブの主な年間の事業は、1月は新年会、2月は保育園児との交流会で歌や踊りやピアノカ笛の演奏などを披露してくれます。終わりに私達の後ろに回って肩たたきをしてくれます。私達クラブの方からも一人一人にお菓子を手渡して別れます。深い交流が毎年できています。

4月は総会、6月は春の日帰り視察懇親会旅行、7月は七夕祭りで短冊に願いごとを書き笹竹に一人一人さげて飾ります。9月は敬老会、10月は秋の一泊視察研修旅行です。老人会のお楽しみ会の主な行事です。老人クラブ活動は、年間サロンの行事内容を自分達で決めて、一人

一人がやりがいと自己成長を実感できる場があります。これからも持続可能で豊かな人と人との地域の輪を広げて積極的に社会参加を働きかけ、健康づくりや地域づくりに努めて貢献していくことは、きわめて意義のあることです。

令和2年から新型コロナウイルスが蔓延し大変ですが、私達のクラブではサロン活動事業も休止しておりません。2ヶ月毎に昼食を皆さんと楽しくとり、午後は2時までゲームや体をほぐす体操を取り入れています。今日まで多少の出席者の変動はありましたが継続しております。幸い、会員の中で陽性になられた方はお一人もおられませんでした。

最後に、今後のクラブの課題としてお世話や指導者の後継者が伸びております。若い人達の参加者が伸び悩んでいるということも課題であります。私達も歳を重ねるばかりで将来はお世話してもらおう側になります。若者を育てて、老人クラブに積極的に参加をしていただき、協力を得て会の発展に、今後も頑張りたいと思います。

## コスモスサロンの

## 成り立ちと取り組み

(夫婦二人三脚で)

大木町老人クラブ連合会

上木佐木中区老人クラブ

会長 嶋添 徹



令和元年、社会福祉協議会よりサロン取り組みの勧めもあり、不安を抱えながら発足する運びになりました。当初は何をどうすればよいか分からず、他区への視察も考えましたが、まずは開催日を決め、全戸へ案内状を配布することから取り掛かりました。事務局よりサロン登録に名称があるということで、その頃コスモスの花が咲いていましたので、「コスモスサロン」と名前を付けて登録いたしました。

第1回目は多くの皆様に参加し

ていただき、社会福祉協議会の北島さんと田中さんも来られました。最初の挨拶で北島さんは胸を張りながら「北島三郎です!」、続いて田中さんも「田中角栄です!」と自己紹介をされ、一瞬でその場は笑顔に包まれ和やかな雰囲気になりました。次に黒板に「外郎・天心・花無実」と書かれ読み方を尋ねられると、漢字の得意な人は大声で答えていらっしやいました。その場面を見ながらこれからは何かテーマを決め、皆で集まる場を設けたら良いのではないかと思つたことを覚えています。

2回目からは案内状に血圧測定、かたらんね体操など、その時々テーマを記載し配布しました。参加された方々は、順次公民館に置いてある血圧計で測定し、血圧が高めの方には看護師経験のある参加者から、再測定するにあたっての呼吸の整え方等のアドバイスをしていただきます。高血圧の方々に対しては、一度病院を受診することを勧められたり、塩分の取り過ぎに関する注意などを参加者の方々に丁寧に説明し

ていただくこともあります。

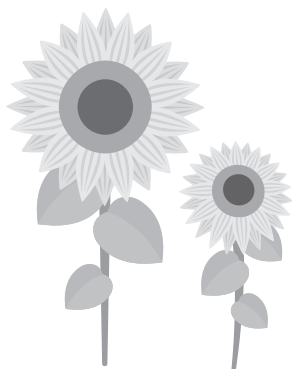
ある時、いつも参加していただいている方が冬の夜トイレに行かれ、朝亡くなつているところを発見されたことを知り、ご冥福を祈り1分間の黙祷を参加者全員で行いました。夜トイレに行く時は上着を着ていくこと、冬のお風呂は浴室を暖め、胸部から直接お湯をかけない等の話を行い、参加者間での情報共有を図つたりしました。

毎回かたらんね体操から始まり、川柳やしりとり、間違い探し、左手書き等のテーマを決めながら楽しく実施しています。しりとりや間違い探しで解らない方には、周りの参加者が「ほらほら、あれよ」とヒントを言いながら、皆さんで支えあつている姿が美しく見え、楽しい一時です。

高齢化で一人暮らしの方が多くなつている現在、「ここに来るだけで楽しい」「皆さんに会つて話ができるだけで楽しい」と喜んで下さる方々に感謝し、サロンを開催して良かったと思つています。

サロンの終盤には季節の童謡を

歌い、お茶菓子をいただき約2時間楽しく過ごし、次回は何をしたいかテーマに関して要望をうかがいます。別れ際「またネ」。元気でネ。何かあつたら連絡してネ」と言いながら楽しい時間を皆様と過ごさせていただいています。以上が上木佐木中区のコスモスサロンの全容です。



# 筑豊地区

## 「楽しい老人会活動を 目指して」

宮若市老人クラブ連合会  
金生若生会

会長 野見山 弘次



私たち、金生(かのう)若生会(わかおうかい)(老人会)は、昭和33年発足して65年を迎えますが、筑豊地区西方の農村地帯であるため、若い世帯の流入も少なく高齢化が進んでいます。

会長を受けて、とにかく「楽しい若生会(わかおうかい)」を motto に取り組んできました。

金生若生会の年間活動は、主に年2回の研修親睦会、11月頃の一泊

親睦旅行、公民館広場でのグランドゴルフ定期練習会、正月の白山神社幟旗立てです。

### 1. 研修親睦会

午前中に、外部講師を呼んでの座学研修、午後は弁当を取って懇親会を行っています。

研修講師は、金生の歴史に詳しい郷土史家を呼んで1時間程度の講演や、宮若市の出前講座「介護予防教室」を行っています。

午後は、乾杯の後にカラオケや踊り、最後には全員でのサザエさん体操で締め、皆で「ふるさと」の大合唱で終わります。

### 2. 一泊親睦旅行

県老連の指定旅館を使い、送迎バスを利用した安い旅行費用で、20名程度の参加です。近県の温泉旅館に宿泊し、70歳前後の「若夫婦」も参加され好評です。

### 3. グランドゴルフ練習会

金生公民館の広場が長方形で広く、4ホール取れるので、毎週1回練習会、年に2〜3回大会を行い、

近隣の若生会員にも参加してもらっ

ています。

広場の隅

に小さな小

屋があり、

道具一式な

ど置き、練

習が終わつ

たらお茶会

をしています

す。話が尽

きず、練習

時間よりも

お茶会のほうが時間が長くなりま

### 4. ボランティア活動

公民館広場の清掃や、白山神社の正月幟旗立てなどを行っています。

地域の守り神である神社の正月

初詣の時に、他地区では奉賛会で旗立てが行われていますが、幟旗が新調されたのを機に、若生会で旗立て

や・降ろしをやるとういうことになり、男性班長数名で年末年始に行っています。

### 5. 金生文化祭

1年おきに自治会と共催で実施



してきましたが、ここ1〜2年はコロナの関係で休止しています。地元には、書、絵画、写真、パッチワークなど特技や趣味を持たれている方が結構おられます。小さな芸術家の発表の場として好評でした。

### 6. 終わりに

超高齢社会の中、独居老人等が増えてきています。このような方々が気軽に参加できるような、地域の状況に合った楽しい活動を、老人会が工夫しながら続けていくことが必要ではないでしょうか！



## 京築地区

## 「セカンドライフも

## 大忙し」

苅田町老人クラブ連合会

副会長 坂本 絹代



37年間務めた教職を退職。子供たちと共に喜び、苦しみ、また感動を共にする、充実した日々でした。これも多くの仲間教えられ助けられたからです。感謝

「さあ、これからが私の人生」若い時からの趣味の華道・茶道・書道が続けるとともに、新たに身体を動かす水泳、社交ダンス、日舞を始めました。

水泳教室で驚いたのはプールの底に沈むことの難しさです。次に水

に浮く練習、と初歩からの挑戦でしたが、毎日が新鮮でコーチの指導に一生懸命ついていきました。プールの中でのエアロビクスは楽しく、おかげで金槌だった私がクロールと背泳はできるようになりました。

社交ダンスと日舞を友達と一緒に始めました。そこでは記憶力の衰えを実感。お稽古中は理解しているのに、ランチ後に今日のステップをやろうとすると2人とも同じところが消えているのです。2人揃ってビックリです。次の週のお稽古でさらいしてやっと出来るようになる、を繰り返しました。ルンバ、タング、ワルツ、チャチャ、パソドブレ：頭と体の両方を同時に使って認知症の予防になったと思います。ダンスの発表会では間違えずに踊れるかドキドキ。

毎回、プロの踊りを間近に見ることができたのも感動の体験でした。日舞では文化祭に参加し、達成感を味わい、とても楽しかったです。H14から「あざみ政治学級」に先輩に誘われて参加。政治学級と言っても政党などとは全く関係はあ

りません。「美しく住みよい町づくり」の推進と「ゴミの散乱防止」を中心とした「まちの政治」を学習する会です。

環境美化活動はもちろんのこと、議会を傍聴したり町長と懇談したり、県内の他の政治学級との交流や、自分たちの活動の発表など活動内容は盛りだくさん、これまでの人生で体験できなかったこと、知らなかったこと、気づかずにいたことにたくさん出会うことができました

活動として町内に手作りの環境美化啓発の看板を設置しています。古くなった看板はもちろん新しく作り替えます。学級花壇には、春・秋に種から苗を育てて植えています。小学校の栽培委員会の児童に指導して育てた苗を、駅や公民館、郵便局に贈呈をします。

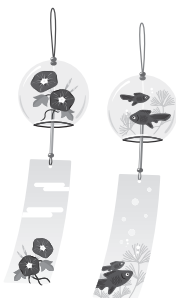
花壇の整地や草取り、水撒きなど暑い時期など特に大変で、水道管が通っていないため水を運ぶだけでも一苦労でしたが、植物の成長を通して、喜びとともに命の大切さを体感できます。

学級生は老人会のメンバーなの

で、やはり健康問題で退会される方もいて、ウオーキング仲間や老人会の仲間に声をかけて新たに入会してもらいました。みんなそれぞれに特技があり、助かっています。

大変なこともあります。町より表彰していただいたり活動が新聞に載ったり、仲間と一緒に活動で自分の健康維持にもなるし、存在意義を感じることもできています。

他にも区や町の役員などの仕事もいただき、多忙な日々ではありませんが、お役に立てる間は頑張っていると思っと思っています。



「コロナ禍で やれたこと」

苅田町老人クラブ連合会

事務局長 織田 幸人



苅老連創立50周年を迎えた翌年、平成28年に事務局長として就任いたしました。

「苅老連のため微力ですが頑張っています」と就任いたしました。が、老人会に入っても楽しくない、何をしているのかわからない、との声を聞きました。

この3年間は、コロナ禍のため行事らしきことができなかったことは事実です。

そんな状況の中でやってよかったことがありますので、ご紹介いたします。

〇絵手紙作戦を企画実行

令和2年夏に企画しました。会員3000人に別紙案内状及び返信用カードを送付して、後日、各単位クラブの役員が配付・回収しましたところ、なんと約600枚が届きました。

これには本当にびっくり、内容は近況報告有り、絵手紙あり、俳句・短歌・川柳ありで、内容は、「コロナ禍の中でコロナに負けないぞ……」の気持ちで溢れておりました。

続いて第二弾は、令和3年秋に企画して、450名の方から返信カードを回収しました。今回は、苅田町の町長他職員の方、社協の方まで広げてカードを提出して頂きました。



返信用カード (Return Card) form with fields for name and address, and a note about returning it to the local club staff.

健康ウォーキング イン 向山公園 11月5日(土) 360名参加



〇健康ウォーキングの実施

令和3年11月 380名参加(大熊公園)及び令和4年11月 360名参加(向山公園) 以前の参加者数から見れば倍増しました。コロナ禍で、屋外のイベントを開催したことが良かったようです。今年も、6月10日(土)に予定しています。参加者400人を目標です。

〇町民スポーツレクリエーション祭に参加

10月23日(日) 囲碁大会 20名参加、10月24日(月) ペタンク大会 58名参加、10月25日(火) Gゴルフ

大会 95名参加、10月29日(土) 体力測定会 85名以上、県からは毎年、表彰状及び記念品が贈られます。また、昨年は苅田町生涯学習課から職員の方(4名)が協議に参加していただきました。特に体力測定会では、前日から準備をして頂き、ありがとうございました。

今年も、末端会員の声を聞きながら行事をやっていくことを基本にして、昨年以上に参加者数を増やしていきたいと思えます。

# 令和四年度 「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」報告

令和4年度  
高齢者の健康づくり・  
生活支援セミナーに参加して

行橋南校区連合会

会長 岡村 睦子



平成27年(2015)から令和5年3月まで行橋市老人クラブの女性部長。令和2年から3年間京築老連の女性部長だった昨年12月に表記セミナーに参加した時の報告を簡単にさせていただきます。

日時 令和4年12月2日(金)

開会 11:00 閉会 16:00

会場 全国社会福祉協議会

「灘尾ホール」新霞が関ビル

LB(ロビー)階

参加人員

都道府県・政令都市あたり2名

福岡県は事務局1名と私の2名。

本セミナーは、健康づくりや地域支え合い活動を総合的に学習する機会を提供し、老人クラブリーダーや活動に対する協力者の育成を通じて、活動のすそ野を広げることを目的に開催されました。

古都(ふるいち)賢一 全国老人クラブ連合会福会長、加藤晴喜 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課課長補佐お二人のご挨拶がありました。

基調報告 古都賢一 全老連副会長

長の「老人クラブが取り組む健康づくり活動・生活支援」を考えるでは、2022年は、新型コロナウイルス禍による社会活動の変化を織り込みコロナ後を見据えて叡智を結集して絆・支え合いの維持、発展が次の課題。その課題をこなす役割をはたすのが老人クラブ活動であることを参考資料で説明された。

また、長年の「老人クラブ活動」を次世代につなぐために「知ってもらおう」「声をかけよう」「一緒に分かち合つてやろう」「開かれた窓口」など「だれもが自分のできることをしていこう」と話され主役は私たち(高齢者)。厚生労働省行政報告による令和3年の老人クラブ会員は、約470万人「約500万人の仲間」がいる。報告は、第一次南

極越冬隊長・西堀榮三郎氏の「まず、やってみなはれ」とタンポポ堂 眞民さんの詩「あとからくる者のために」で終わりました。

事例発表(地域支え合い) 岩手県花巻市老人クラブでは、単位クラブごとに、月2回花巻市が推奨する「元気でまっせ体操」を高齢者も含めて行っている。また、看護師資格のある会員が血圧測定しているその後「いきいきふれあいサロン」に移り、お茶を飲みながらコミュニケーションを図る。など。





和歌山県有田市老人クラブで  
取り組む地域支え合い活動では、  
活動内容の紹介と活動を「無理  
せず続けること」を合言葉にし  
ているが、心に残りました。

**講義①** 全国コミュニティライ  
フサポートセンター 池田理事  
長の「地域で取り組む健康づく  
りと支え合い」では、栃木県老

連の研修での「老人クラブ」活  
動の多様性、幅の広さ、奥の深  
さに感動されたこと。栃木では、  
会員以外の人とも一緒に活動し  
ている。その他日本全国の支え



合い活動の紹介と、その地域の  
人達の活動への思いの紹介。講  
師の元気で長生きする人に共通  
する生活習慣の決め手は「きよ  
ういく（今日行くところ）」と  
「きょうよう（今日の用事）」で  
ある。の言葉に毎日多忙な私は、  
幸せなのだとあらためてやる気  
ができました。

**講義②** 健康（歯・口腔）では、

歯科口腔外科部長 自立促進と  
精神保健研究チーム平野浩彦研  
究部長が、「口の些細な衰えを見  
逃すなくオーラルフレイルをご  
存じですか」の内容でいかのよ  
うな話がありました。

1. いまなぜフレイルが注目さ  
れるのか
2. オーラルフレイルとは
3. オーラルフレイル予防
4. オーラルフレイルに関する  
研究

8020運動のなぜ80歳で20  
本なのか？ 80歳は、日本人の  
平均寿命、20本は、たいていの

ものが噛める（食べられるため  
に）必要な歯の本数。  
危険な老化のサインのチェッ  
ク方法。口腔体操のすすめ（舌  
のパワーをつける体操）

オーラルフレイルを理解し健  
康長寿をはかる。そのためには  
○日々の歯のケアをしつかりと  
○かかりつけの歯医者で定期検  
診してもらう。

○ささいな口の衰え（オーラル  
フレイル）を歳のせいにしな  
い  
○心配なときは。かかりつけの  
歯医者さんへ相談してみる。

口のささいなトラブル（噛め  
ない 咀嚼機能低下 軟らかい  
ものを食べる・食欲の低下）  
に気づくこと。誤嚥性肺炎にな  
らないように（ムセない喉を鍛  
える）

**講義③** 健康（運動）では、「高  
齢期の運動による健康づくり・  
介護予防」と題して順天堂大学  
武井正子名誉教授が以下のよう

に話された。

○超高齢化社会の健康づくり  
については、我が国の高齢化、  
平均寿命は男性 81.64歳、  
女性87.74歳、  
健康寿命は男性72.68歳、  
女性75.38歳、  
平均寿命ー健康寿命＝  
男性9年、女性12.4年に  
わたり支援・介護が必要

○全国老人クラブ連合会「運動  
による健康づくり」への取り  
組み、いきいきクラブ体操（平  
成4年）など  
○運動は気軽にできる健康づく  
り・介護予防

介護が必要となった主な原因…  
65歳以上、男性は脳血管疾患、  
女性は認知症、女性では、運  
動器の障害（関節疾患、転倒、  
骨折）が要介護の原因の約  
28%

運動の基礎知識  
自分のからだを知る（大切な  
のは、気づき）

○コロナ禍の外出自粛による身体不活動の影響

- ・身体を動かさないと心肺機能、消化機能も低下し起立性低血圧になりやすい。

- ・外部からの刺激がなくなる
- と認知機能も低下する。

- ・いつでもどこでも気軽に体操 両手を挙げて深呼吸

- ・仲間と集い一緒に歩きいきいきクラブ体操を

○いきいきクラブ体操は、気づきの体操脳を活性化する

講義の最後に、参加者全員で講師から運動の仕方の注意点や動作の効能の説明を聞きながらいきいきクラブ体操をしました。

### おわりに

セミナーの開始時間に、まにあわないので、前日の午後北九州空港から出発し、羽田空港で県老連事務局の松田さんと合流しました。松田さんには二日間本当にお世話になりました。

会場へ行く途中に文科省へ行

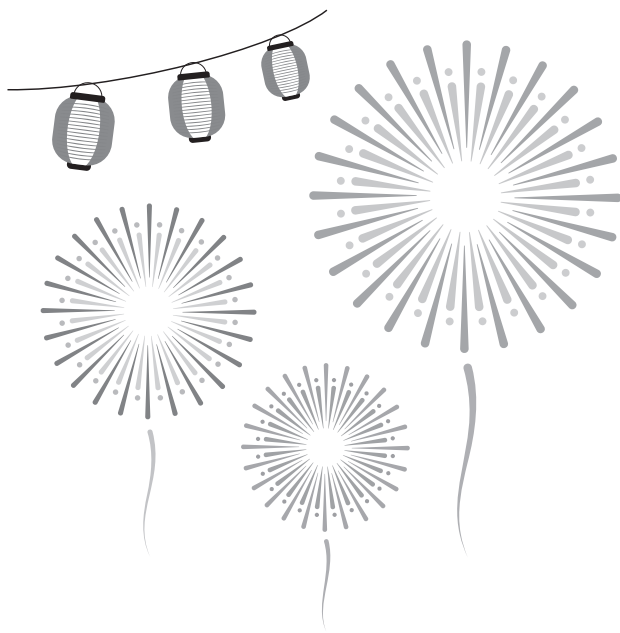
けるエスカレーターがあったりして、全老連事務局が日本の中枢の場所にあるのだと、あらためて感動しました。

老人会活動が多方面に亘り必要不可欠であることを改めて感じさせて頂きました。

今後は、地域の支部に於いて

今回のセミナーで学んだり経験したりしたことを会員へ周知しながら老人クラブ活動を続けていこうとあらためて決心しました。

このセミナーに参加させて頂いたことを感謝しています。



会員章を胸に活動の輪を広げましょう。

## おねがい

〈お申し込み・お問い合わせについて〉

① 会員章にはタック式とピン止式の2種類があります。

② お申し込み・お問い合わせは、福岡県老人クラブ連合会 (TEL 092-582-9860) へお願いします。

1口 1,000円

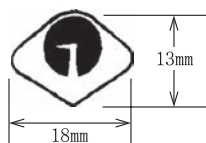
### 末広鶴と日の丸

鶴(高齢者)が、両翼を扇(末広)状に広げて、日章(日本)を担っている図、すなわち、高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えてきたものであることを表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。

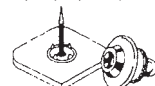
### 色 彩 金メッキ入り・高級七宝製

内側の円(日章)が赤。外側の鶴が白。外周の線を金色とする。

### 会員章



### タック式



タック式は、会員章の針を布地に差し込み、裏側からその針を止め金の穴に差し込んで固定します。  
※ピン止式もあります。

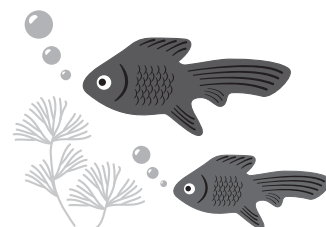
## 「会員増強運動」令和5年度における市町村老連会員増強運動実績一覧

平成26年度から5年間取り組みました「福岡県3万人会員増強運動」に引き続き、令和元年度から新たな「会員増強運動」に取り組んでいます。老人クラブの活性化・会員の増強について、どうぞよろしくお願いたします。

連合会名		会員数の状況			会員増 クラブ	増減無 クラブ	会員減 クラブ	解散 休止	新設 復活
		令和5年度	令和4年度	増 減					
1	朝倉市	4,799	5,167	<b>-368</b>	14	14	56	3	0
2	筑紫野市	2,225	2,435	<b>-210</b>	5	14	32	2	0
3	春日市	1,583	1,651	<b>-68</b>	10	5	13	1	0
4	大野城市	1,706	1,721	<b>-15</b>	10	1	17	0	1
5	宗像市	1,259	1,646	<b>-387</b>	7	6	17	8	0
6	太宰府市	1,029	1,203	<b>-174</b>	5	3	14	2	0
7	糸島市	4,499	5,033	<b>-534</b>	18	19	55	7	0
8	古賀市	1,079	1,144	<b>-65</b>	9	2	14	1	0
9	福津市	1,683	1,679	4	13	3	20	0	1
10	那珂川市	650	669	<b>-19</b>	4	4	10	0	0
11	宇美町	376	389	<b>-13</b>	3	1	8	0	0
12	篠栗町	771	826	<b>-55</b>	3	3	11	0	0
13	志免町	690	724	<b>-34</b>	3	1	9	0	0
14	須恵町	1,019	1,066	<b>-47</b>	5	2	15	2	0
15	新宮町	795	935	<b>-140</b>	5	2	9	3	0
16	久山町	538	563	<b>-25</b>	1	1	5	0	0
17	粕屋町	1,140	1,212	<b>-72</b>	6	2	11	2	0
18	筑前町	1,447	1,565	<b>-118</b>	6	4	22	2	0
19	東峰村	370	383	<b>-13</b>	2	0	5	0	0
20	久留米市	14,724	16,109	<b>-1,385</b>	61	44	145	18	3
21	八女市	4,576	5,419	<b>-843</b>	16	27	73	14	0
22	筑後市	1,424	1,765	<b>-341</b>	5	5	22	5	0
23	小郡市	1,137	1,251	<b>-114</b>	4	0	18	1	0
24	うきは市	3,565	3,773	<b>-208</b>	16	10	44	2	8
25	広川町	1,885	1,969	<b>-84</b>	5	3	20	0	0
26	大刀洗町	1,485	1,577	<b>-92</b>	4	0	22	0	0
27	大牟田市	435	448	<b>-13</b>	4	5	7	0	0
28	柳川市	8,386	8,952	<b>-566</b>	35	34	92	8	0
29	大川市	4,200	4,189	11	24	44	17	3	0
30	みやま市	1,466	1,632	<b>-166</b>	5	10	17	4	1



連合会名		会員数の状況			会員増 クラブ	増減無 クラブ	会員減 クラブ	解散 休止	新設 復活
		令和5年度	令和4年度	増 減					
31	大 木 町	2,740	2,827	<b>-87</b>	12	4	26	0	0
32	飯 塚 市	2,599	2,830	<b>-231</b>	15	18	49	7	0
33	田 川 市	1,276	1,329	<b>-53</b>	7	10	21	1	0
34	嘉 麻 市	2,263	2,161	102	18	19	31	1	5
35	中 間 市	663	705	<b>-42</b>	2	5	14	1	1
36	宮 若 市	1,825	1,998	<b>-173</b>	4	8	25	3	0
37	芦 屋 町	481	501	<b>-20</b>	2	2	10	0	1
38	水 巻 町	750	781	<b>-31</b>	6	7	16	0	0
39	岡 垣 町	1,261	1,378	<b>-117</b>	2	6	21	3	1
40	遠 賀 町	793	833	<b>-40</b>	0	1	9	0	0
41	小 竹 町	352	297	55	3	4	3	0	0
42	鞍 手 町	540	575	<b>-35</b>	3	1	9	1	0
43	桂 川 町	347	356	<b>-9</b>	1	4	9	0	0
44	香 春 町	443	401	42	9	1	3	0	0
45	添 田 町	649	674	<b>-25</b>	2	6	9	0	0
46	福 智 町	3,168	3,195	<b>-27</b>	4	42	20	0	0
47	糸 田 町	183	203	<b>-20</b>	0	2	7	1	1
48	川 崎 町	589	573	16	4	8	6	0	2
49	大 任 町	445	522	<b>-77</b>	0	12	1	2	0
50	赤 村	220	237	<b>-17</b>	1	1	5	0	0
51	行 橋 市	4,577	4,859	<b>-282</b>	15	12	59	4	1
52	豊 前 市	2,726	3,117	<b>-391</b>	3	18	40	4	0
53	苅 田 町	3,022	3,241	<b>-219</b>	6	2	23	2	0
54	み や こ 町	3,405	3,551	<b>-146</b>	17	8	31	1	0
55	築 上 町	1,104	1,264	<b>-160</b>	3	3	19	2	0
56	吉 富 町	229	249	<b>-20</b>	2	0	4	1	0
57	上 毛 町	722	766	<b>-44</b>	6	1	16	1	1
<b>合 計</b>		108,313	116,518	<b>-8,205</b>	455	474	1,306	123	27



## 福岡県老人クラブ連合会役員

役職名	氏名	地区名	備考
会長 (代表理事)	後藤 清忠	福岡	春日市シニア連会長
副会長 (理事)	松 栄 磐	北筑後	久留米市老連会長
〃	築地原 米藏	南筑後	みやま市老連会長
〃	田 中 憲 司	筑 豊	飯塚市老連会長
〃	中 島 章	京 築	行橋市老連会長
〃	吉 竹 智恵子	福 岡	篠栗町シニア連女性部長
〃	西 畑 イツミ	京 築	築上町老連会長
常務理事	飯 田 みゆき	事務局	県老連事務局長
理事	井 本 五 男	福 岡	朝倉市シニア連会長
〃	里 村 廣 志	福 岡	糸島市シニア連会長
〃	綾 戸 信 之	北筑後	広川町老連会長
〃	中 村 昭 則	北筑後	大刀洗老連会長
〃	東 多喜子	北筑後	うきは市老連女性部長
〃	猿 渡 春 子	南筑後	大牟田市老連女性部長
〃	安 部 一 正	筑 豊	中間市老連会長
〃	藤 本 チドリ	筑 豊	桂川町老連女性部長
監 事	岡 本 穎 和	福 岡	福津市シニア連会長
〃	龍 野 正 明	南筑後	大川市老連会長

### 財産管理運用委員会委員

地区	氏名	備考
役員	後藤 清忠	県老連
	築地原 米藏	県老連
	松 栄 磐	県老連
	田 中 憲 司	県老連
	中 島 章	県老連
	吉 竹 智恵子	県老連
	西 畑 イツミ	県老連
福岡	福岡 力太郎	那珂川市シニア連
北筑後	中 川 茂	小郡市老連
南筑後	小 野 晃	大牟田市老連
筑 豊	荒谷 美知郎	水巻町老連
京 築	八 並 智 由	苅田町老連

### 女性委員会委員

地区	氏名	備考	
役員	西畑 イツミ	県老連	
	吉竹 智恵子	県老連	
	東 多喜子	県老連	
	猿 渡 春 子	県老連	
	藤本 チドリ	県老連	
	福岡	中 村 和 子	筑紫野市シニア連
福岡	山 田 宏 子	福津市シニア連	
	北筑後	緒方 ソト江	広川町老連
北筑後	豊 福 悦 子	久留米市老連	
	南筑後	東 原 幸 子	みやま市老連
南筑後	古 賀 政 子	大川市老連	
	筑 豊	田村 眞智子	中間市老連
筑 豊	有 吉 勝 子	宮若市老連	
	京 築	長 岡 淳 子	行橋市老連
	京 築	清 原 元 子	豊前市老連

### 健康推進委員会委員

地区	氏名	備考
役員	中 村 昭 則	県老連
	藤本 チドリ	県老連
福岡	倉地 美智雄	大野城市シニア連
福岡	松田 信一郎	古賀市シニア連
北筑後	近藤 キヌヨ	筑後市シニア連
北筑後	鈴木 俊子	小郡市老連
南筑後	龍 野 正 明	大川市老連
南筑後	鳥 取 英 記	大木町老連
筑 豊	栗 野 良 一	嘉麻市老連
筑 豊	大 村 和 夫	桂川町老連
京 築	藤 田 寛	豊前市老連
京 築	織 田 幸 人	苅田町老連

# 2023年度 指定旅館のご案内

## 指定旅館をご存知ですか？

指定旅館は、老人クラブ会員の皆さんが会員相互の親睦を図る場として、老人クラブ会員限定のサービスの提供が可能な施設をご案内する福岡県老連の福利厚生事業です。

研修旅行や家族旅行の際にご利用いただくために、毎年度全ての指定旅館を掲載した「指定旅館のご案内」（カラー印刷30ページ程度）の冊子を全部の単位老人クラブに配布しています。

○個人情報保護法との関連

- ・指定旅館と福岡県老連は、福利厚生事業のため福岡県老人クラブ名簿を共同利用しています。
- ・「指定旅館のご案内」の末尾に指定旅館の個人情報管理責任者の氏名を記載しています。この情報管理者の責任において、転写の禁止・情報漏えいの防止など個人情報を管理しています。

- ※・申込みの際に、福岡県老人クラブ連合会会員（単位老人クラブ名等）であることを伝えてください。
- ・指定旅館からの賛助収益は、県老連の事業を実施するための大きな財源となっております。積極的にご利用いただきますようお願いします。
- ・2022年度の指定旅館から退会された旅館・ホテルがありますので、「2023年度指定旅館のご案内」をよくご確認いただき、ご利用ください。

### 指定旅館の手引き

1. 直接、「指定旅館」へ電話し、まず、次のことを伝えてください。

- ①「福岡県老人クラブ連合会」の会員であること（必須）
- ②市町村名、単位老人クラブ名、申し込み代表者名・連絡先
- ③利用日時（宿泊か日帰りか）、利用人数（男性○人、女性△人）
- ④希望するプランまたは予算（食事は2食か、3食か、4食か）
- ⑤グラウンドゴルフ場、会議・研修室、送迎などの特別な希望
- ⑥（必要に応じて）見積書を送ってもらえるかどうか



2. 指定旅館側の説明（見積書）を確認し、申込み時には、次の点にご留意ください。

- ①見積書（特別な希望の費用を含む）が、予算や想定額の範囲内かどうか
- ②特別な希望に、伝えられなかったかどうか
- ③人数変更やキャンセルを申し出る際の条件  
（申し出期間およびキャンセル料の割合）

3. 送迎バスの利用については、指定旅館側の説明を丁寧に聞き、無理な要求をしないようにしてください。（道路運送法上の規制・制限があります）



2023年度は、6つの旅館・ホテル（つるき荘・花立山温泉・亀の井ホテル柳川・青雲荘・ホテルセキア・玉名ファミリー温泉旅館）が新しく指定旅館に加わりました！



## 2023年度 指定旅館

県名と位置番号		指定旅館名	住所	電話番号 FAX番号		
山口	①	 下関市国民宿舎 海峡ビューしものせき Kaikyo View Shimonoeki	751-0813 山口県下関市みもすそ川町3-58	083-229-0117 083-229-0114		
	福岡	②	 甘木館	838-0068 福岡県朝倉市甘木2091	0946-22-3344 0946-24-1067	
		③	 原鶴温泉 原鶴グランドスカイホテル	838-1514 福岡県朝倉市杷木久喜宮1820-1	0946-62-1951 0946-62-3063	
		④	夕日の見える割烹宿 和風旅館 華杏弥太楼	811-3521 福岡県福津市勝浦530-2	0940-62-3282 0940-62-3941	
		⑤	筑後船小屋 国民宿舎 公園の宿	833-0015 福岡県筑後市津島2108-1	0942-42-1126 0942-42-1125	
		⑥	自家源泉かけ流しの宿 開湯60周年 筑後川温泉 清乃屋 ミシュランガイド掲載	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-3	0943-77-2188 0943-77-3270	
		⑦	温泉、料理、観光と笑顔でおもてなしの宿 筑後川温泉 川畔のお宿 桑之屋	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-10	0943-77-2148 0943-77-2700	
		岡山	⑧	 花の色	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1097-1	0943-77-2110 0943-77-2079
			⑨	 リバーサイド 筑後川温泉 つるき荘	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1096-1	0943-77-3181 0943-77-3605
			⑩	 CARNAPARK 花立山温泉	838-0821 福岡県朝倉郡筑前町上高場795	0946-23-0001 0946-23-0011
			⑪	 KAMENOI HOTEL 亀の井ホテル 柳川	832-0057 福岡県柳川市弥四郎町10-1	0944-72-6295 0944-72-6296
			長崎	⑫	 雲仙みかどホテル UNZEN MIKADO HOTEL	859-1501 長崎県南島原市深江町甲5292-2
	⑬	 青雲荘		854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙500-1	0957-73-3273 0957-73-2698	
	熊本	⑭	 スタッフ一同お待ちしております ホテルセキア RESORT & SPA	861-0804 熊本県玉名郡南関町セキアヒルズ	0968-69-6111 0968-69-6116	
		⑮	 玉名温泉 おつかさの湯	865-0061 熊本県玉名市立願寺東段656-1	0968-72-7777 0968-72-7783	
		⑯	 天然温泉の宿 玉名ファミリー温泉旅館	865-0061 熊本県玉名市立願寺428	0968-74-3888 0968-74-3889	

※詳細な内容については、各単位クラブに配付しております「2023年度 指定旅館のご案内」でご確認ください

**いきいき活動を支える 老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償**

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
  - ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
  - ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
- 〈資料請求受付期間〉【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで  
【賠償責任保険】随時受付中

**2023年10月始期 2024年 4月始期版 老人クラブ 傷害保険 〈掛金・補償内容〉**

**自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。**  
**一部のタイプでは他人の物を壊したり、他人にケガをさせた場合\*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません(複数口加入はできません)。** \*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

①保険始期月 および保険期間	保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
	2023年10月	2023年7月15日～9月15日まで	2023年10月1日午後4時から1年間
	2024年 4月	2024年1月15日～3月15日まで	2024年 4月1日午後4時から1年間

②掛金タイプと補償内容 [下記◆重要◆と併せてご確認ください]

補償内容 (保険金額)	タイプ	補償充実 24時間型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外のケガの補償額)				活動型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)のケガを補償します。			
		掛金	12,000円/年 (262万円)	8,000円/年 (192万円)	5,000円/年 (185万円)	3,500円/年 (140万円)	1,000円/年	500円/年	
㊸ 死亡保険金(注2) (事故から180日以内)			432万円 (262万円)	277万円 (192万円)	270万円 (185万円)	185万円 (140万円)	85万円	45万円	
㊹ 後遺障害保険金(注3) (事故から180日以内)			170万円 (-)	85万円 (-)	85万円 (-)	45万円 (-)	85万円	45万円	
㊺ 入院保険金日額(注4) (事故から180日以内、30日限度)			6,600円 (2,600円)	3,700円 (1,700円)	3,600円 (1,600円)	2,200円 (1,200円)	2,000円	1,000円	
㊻ 通院保険金日額 (事故から180日以内、30日限度)			4,100円 (1,500円)	2,200円 (900円)	2,100円 (800円)	1,250円 (600円)	1,300円	650円	
個人賠償責任補償 (自転車事故も含む)(注6)		1億円限度							
地震・噴火・津波 危険補償		対象となる保険金 ㊸㊹㊺㊻(注5)							
熱中症危険補償		対象となる保険金 ㊸㊹㊺㊻(注5)							

③〔クラブ活動中とは〕

- (1)「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および
- (2)「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに
- (3)「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。
- (4)事故証明者:単位クラブ関係者、参加した主催老連関係者

◆重要◆

- ④(注1)往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。
- ⑤(注2)すでに支払った後遺障害保険金がある場合の死亡保険金は、すでに支払った金額を控除した残額となります。
- ⑥(注3)後遺障害の程度に応じて、後遺障害保険金の4%～100%が支払われます。
- ⑦(注4)手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- ⑧(注5)地震・噴火・津波危険補償、熱中症危険補償はクラブ活動中・活動以外を問わず24時間対象ですが、補償額はあて死亡保険金、㊹入院保険金日額、㊺通院保険金日額の  
下段( )内の補償額(活動中以外の補償額)となります。
- ⑨(注6)1事故について1億円を限度に保険金をお支払いします。自動車等を運転中に生じた事故については対象外となります。

**老人クラブ 賠償責任保険 〈掛金・補償内容〉**

**他人の物を壊したり、ケガをさせた時\*1の保険。自分のケガは対象になりません。**

- ① 対 象 : 単位老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間 : 毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③ 掛 金 : 1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補 償 : 支払限度額1億円

\*1 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外。

**公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30分～12:00まで  
9:30分～17:00まで (土、日、祝祭日、年末年始)

加入申込み書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス [hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。  
 【老人クラブ傷害保険】  
 老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・  
 総合生活保険(傷害補償)  
 【老人クラブ賠償責任保険】  
 施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険  
 ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。